

諏訪之瀬島の火山活動解説資料（平成 21 年 1 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

爆発的噴火¹⁾は2回発生し、3日に小規模な噴火が1回発生しました。諏訪之瀬島ではこれまでも長期にわたり噴火を繰り返しています。

今後も、御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 1 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 2）

爆発的噴火¹⁾は2回発生したほか、3日に小規模な噴火が1回発生しました。諏訪之瀬島ではこれまでも長期にわたり噴火を繰り返しています。

噴煙の最高高度²⁾は、23 日の 1000m（12 月：1200m）でした。

・地震、微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の月回数は、A型地震が 66 回（12 月：27 回）とやや増加し、B型地震の月回数は 102 回（12 月：132 回）と大きな変化はありませんでした。

火山性微動の月回数は 18 回（12 月：47 回）と減少しました。

火山性微動の継続時間合計は 12 時間 7 分（12 月：7 時間 12 分）でした。

- 1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としています。
- 2) 2003 年 3 月 28 日以降、噴煙の最高高度は遠望監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告のうち高い値を用いています。

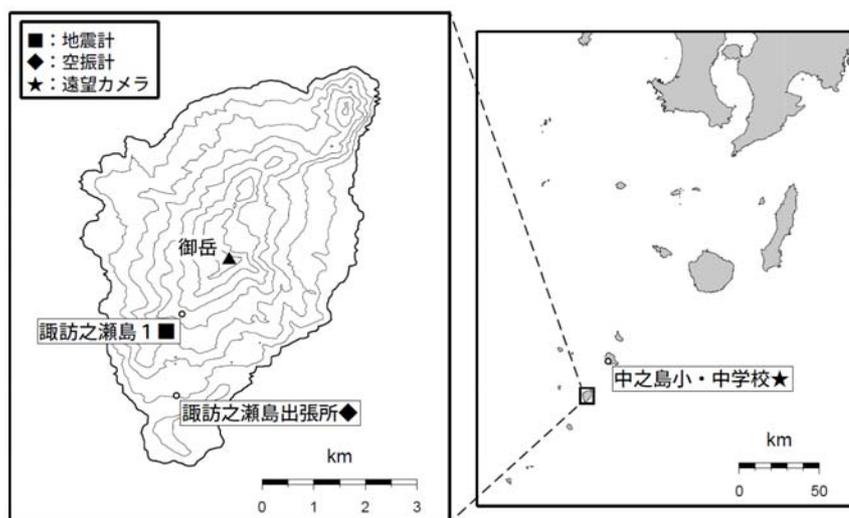


図 1 諏訪之瀬島 観測点配置図

地図の作成に当っては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平 20 業使、第 385 号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 21 年 2 月分)は平成 21 年 3 月 6 日に発表予定です。

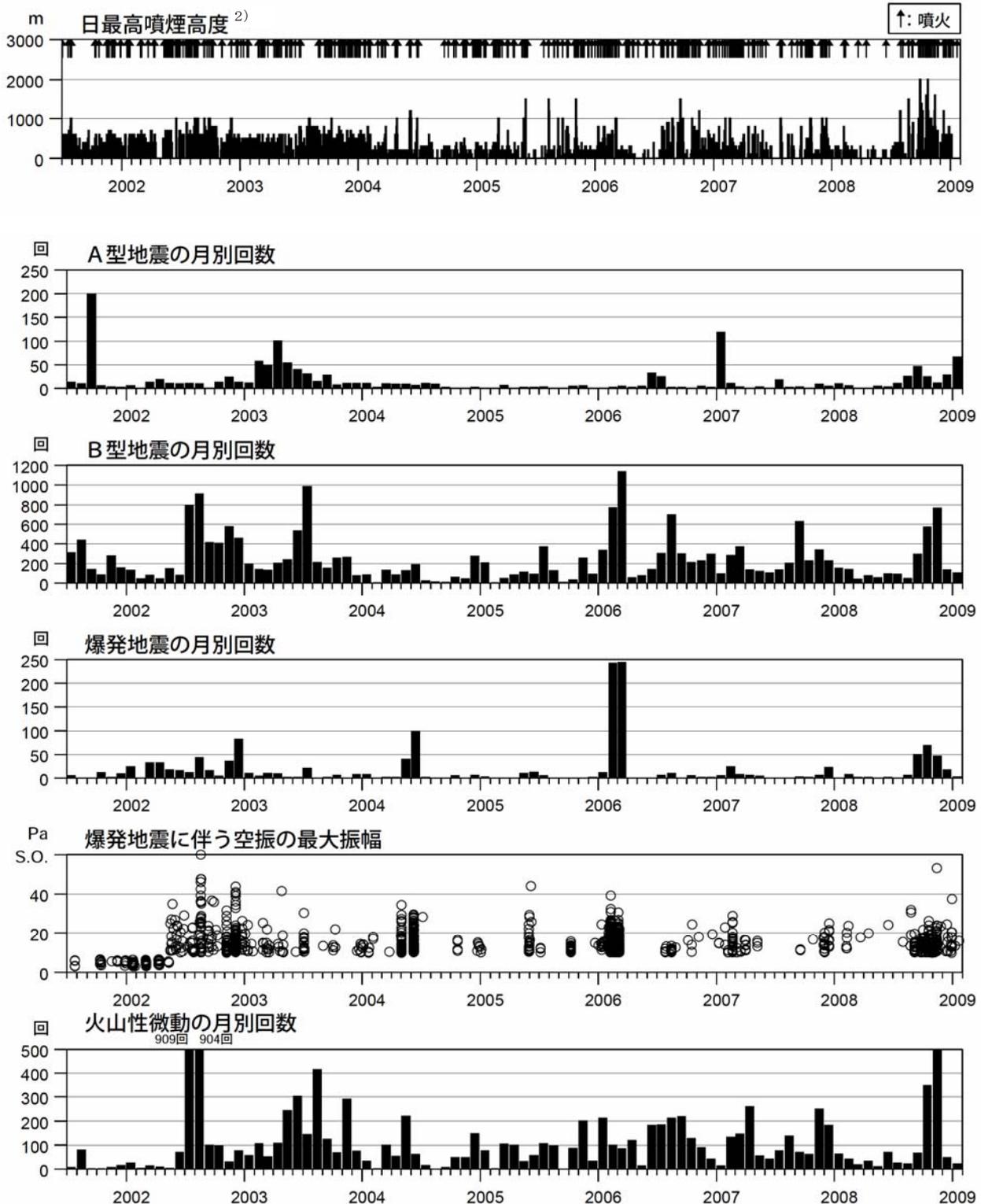


図2 諏訪之瀬島 火山活動経過図(2001年7月～2009年1月)

- ・爆発的噴火¹⁾は2回発生(12月:17回)し、3日に小規模な噴火が1回発生しました。
- ・噴煙の最高高度²⁾は23日の1000m(12月:1200m)でした。
- ・A型地震は66回(12月:27回)と増加し、B型地震の月回数は102回(12月:132回)と減少しました。
- ・火山性微動は15回(12月:47回)でした。

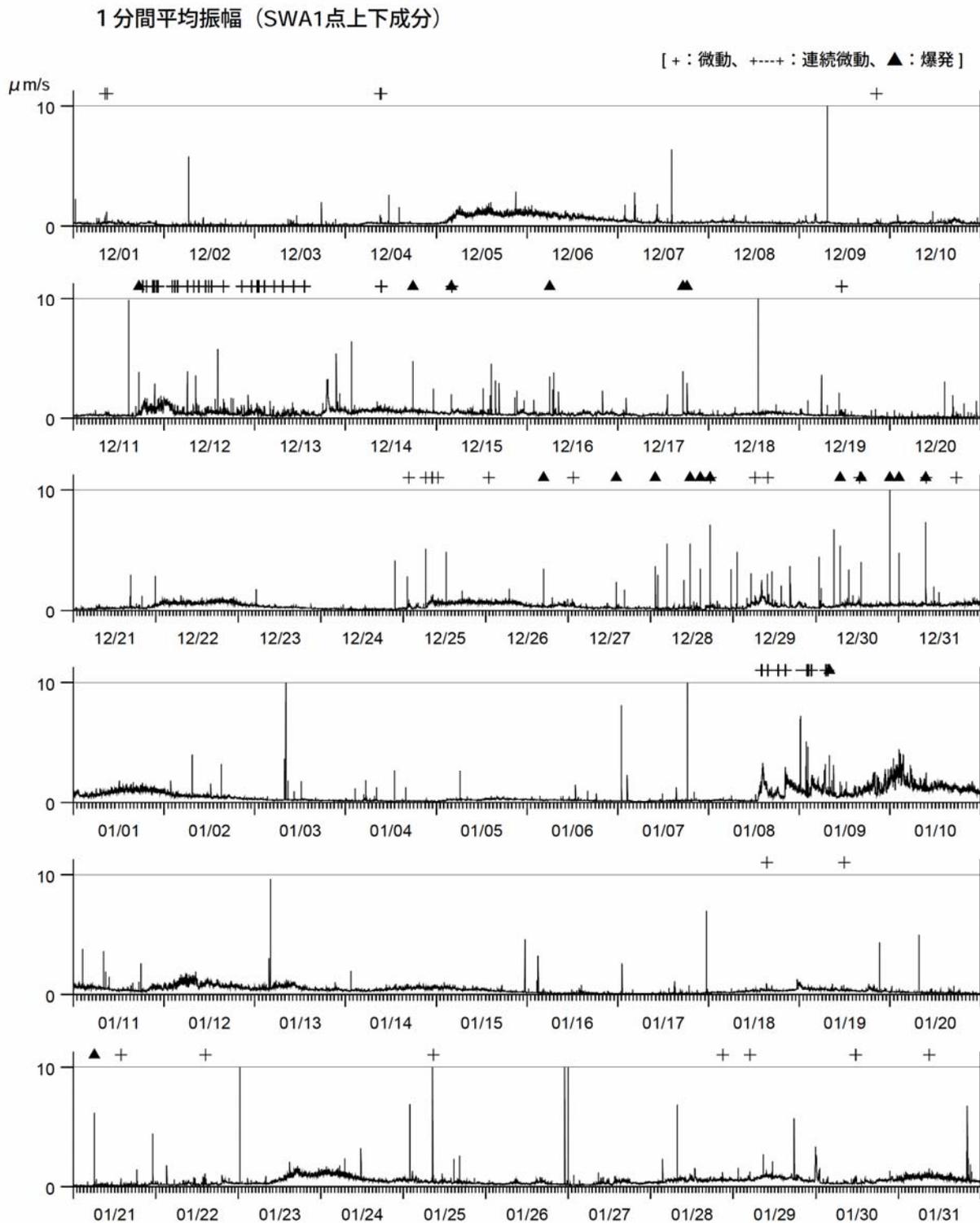


図3 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化 (SWA1 上下成分) (2008 年 12 月～2009 年 1 月)
火山性微動の継続時間月合計は 12 時間 7 分 (12 月 : 7 時間 12 分) でした。